



**インターナショナル・ダンス・デイ メッセージ 2020**  
**International Dance Day Message 2020**

**グレゴリー・ヴヤニ・マコマ (南アフリカ)**  
**Gregory Vuyani Maqoma**

このあいだ、とあるインタビューを受けて、ふいにダンスのことを深く考えるようになりました。私にとってダンスとは何なのか。人生の旅を振り返って気がついたのは、ダンスこそ私の日々の目的であり、向き合うべき挑戦であり、世界を捉えるための眼だということでした。

私たちはいま「ポスト・ヒューマン」とでもいうべき、想像を絶する悲劇的な時代から脱け出ようとしています。ダンスにはこれまで以上に目的が必要です。まだ人間性が存在したころの世界を思い出させるというという目的が。

仮想空間では、はるか昔から目的と共感がカタルシスを生み、解決をもたらしてきました。悲しみを癒し、日常にあふれるさまざまな厳しい現実、死や拒絶、貧困などを克服する力となってきました。安全と人間性の回復を担う世界のリーダーたちへ、ダンスはこれまでよりも強く警鐘を鳴らさねばなりません。ダンスに携わる私たちは、怒れる思想家たちを守る兵士であり、世界を変える一歩になるという意味を持っているのですから。ダンスは自由です。自由だからこそ、私たちは、困難に直面する世界中の人々を罣から解くことが自分たちの使命だと気づくのです。ダンスは政治ではありません。でも政治たりえます。なぜならダンスは人々をからめ、寄せ集めるファイバーであり、人間の尊厳を取り戻す力になれるから。

自分の体で踊るとき、宙を舞い、もつれあうとき、私たちは人の心を紡ぎ、魂に触れて、そのいたみを癒やしています。踊るなら、どうしてもそうでなければ。意思があれば、そのダンスは多くの人に届き、強靱で深遠なものとなります。もっとダンスを！！！！